

東京日仏学院招聘・文学部共催フランス語圏文化学科主催

特別講演

ジェラルール・ヴァイツマン

作家、精神分析学者、パリ第8大学精神分析学科准教授、
視線に関する歴史や理論研究所長

著書

『主人とヒステリー患者』(ナヴァラン社・スユ社、1982年)、『禁忌』(ドゥノエル社、1986年)、『世紀の対象』(ヴェルディエ社、1998年)、『窓、視線と内心の記録』(ヴェルディエ社、2004年)、『絶対の眼』(ドゥノエル社、2010年)

主題

モンストラション
指 示

**(言葉の芸術も視覚芸術であるとは
言えないだろうか)**

2011年11月11日(金)午後6時より

於

学習院大学文学部北2号館5階

フランス文学専攻研究室(570)